１章　住民アンケート調査

１－１　調査の概要

（1）調査の概要

調　査　目　的	「鳥取市地域公共交通総合連携計画」に基づき、南部地域をモデル地区とした実証運行が平成 24 年 10 月より開始されている。本調査は、南部地域の居住者を対象とし、実証運行のサービスに対する評価やその認知状況等に関して調査を行い、評価・見直しの資料とするものである。
調　査　内　容	○個人属性 ○南部地域実証運行の認知状況・認知のきっかけ ○新公共交通の利用状況 ○バスアテンダントの認知状況・評価 ○新公共交通となってからの外出しやすさ・公共交通が不便なことによる生活への支障・外出回数の変化（目的・行先） ○公共交通の支援に対する意識 ○自由意見
調　査　方　法	○配布・回収町内会長による配布・郵送回収 ○配布世帯数：全戸配布（4,538） ○各世帯 2 部ずつ配布 ○世帯の中でも、高齢者・高校生など普段から公共交通を必要とする人に回答していただく（中学生以下を除く）
調査実施時期	2012 年 12 月 20 日～ 2013 年 1 月 10 日
回　　収　　票	1,791（回収率 19.7%）
回　　収　　率	19.7%（1,791／4,538×2　※単身世帯に２部配布している場合も含む）

（2）調査票

南部地域実証運行に関するアンケート調査

この調査票は各世帯に２部ずつ配布しています。世帯内でどなたか2名までがお答えください。お答えになる方は、できるだけ高齢の方や免許証をお持ちでない方など、なるべく普段から公共交通が必要な方を優先してください。

【問1】 あなた自身のことについておたずねします。

①住 ま い	鳥取市（町丁名・字名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
②性　　別	1．男　　2．女
③年　　齢	（＿＿＿＿＿＿）歳
④世帯構成	1.ひとり暮らし　2.夫婦のみ　3.二世代　4.三世代以上　5.その他
⑤職 業 等	1.会社員等　2.自営業（農業・漁業・商業等）　3.専業主婦・主夫 4.学生（大学・専門学校等）　5.高校生　6.無職　7.その他
⑥通勤・通学での交通手段	1.自動車(自分で運転)　2.自動車(送迎)　3.自動二輪・原付 4.鉄道　5.路線バス　6.自転車　7.徒歩 8.通勤・通学していない　9.その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
⑦免 許 証	1.自動車免許あり　2.自動二輪・原付免許あり　3.なし
⑧自動車の使い方	1.自由に使える車がある　2.家族共同で車を使っている 3.家族に送迎を頼めば使える　4.自由に使える車はない
⑨最寄のバス停	1.知っている → バス停名（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿） 2.知らない
⑩健康状態	**※自分だけでは活動が大変だと感じるものすべてに○をしてください** 1．居間から玄関口まで歩く　2．風呂に入る 3．階段を2、3段上がる　4．電話をかける 5．バスや汽車を利用して外出する、又は自家用車を自分で運転して外出する 6．日用品の買物をする

【問2】 鳥取市では、平成 24 年 10 月より南部地域（河原・用瀬・佐治）において、幹線便と支線便にわけた新公共交通（路線バス・乗合タクシー）の実証運行を行っています。

①平成 24 年 10 月より、南部地域の公共交通が新しくなったことはご存じですか。

1.知っている　→②へ　　2.知らない

② ①で「知っている」と答えた方にお聞きします。

南部地域の公共交通が新しくなったことは、どのように知りましたか。

1.自治会配布の時刻表　2.説明会　3.テレビ　4.新聞記事
5.知人等からのクチコミ　6.その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

【問3】 南部地域の公共交通のご利用についてお聞きします。

① 南部地域の公共交通が新しくなってから、路線バスまたは予約型乗合タクシーを利用されましたか。

1.利用した →これまでに（＿＿＿）回程度利用した →②～⑤へ
2.特に必要ないので利用していない
3.利用したいが利用できない →⑥へ

② ①で「利用した」と答えた方にお聞きします。
利用の際の目的と、利用した路線について、あてはまるものすべてに○をしてください。

利用目的	1.通勤　2.通学　3.買物　4.通院　5.趣味や娯楽 6.友人・知人との面会　7.公共施設（市役所や銀行など）の利用 8.その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
利用した路線	1.幹線（鳥取駅～用瀬） 2.西郷線　3.江波・赤波線　4.和奈見・国英線 5.散岐線（定時路線）　6.散岐線（予約型乗合タクシー） 7.佐治線（定時路線）　8.佐治線（予約型乗合タクシー）　9.津野・津無線

③ ①で「利用した」と答えた方にお聞きします。
よく利用する区間がございましたら、ご記入ください。

区間 1	（バス停名＿＿＿＿＿＿＿＿）～（バス停名＿＿＿＿＿＿＿＿）
区間 2	（バス停名＿＿＿＿＿＿＿＿）～（バス停名＿＿＿＿＿＿＿＿）
区間 3	（バス停名＿＿＿＿＿＿＿＿）～（バス停名＿＿＿＿＿＿＿＿）

④ ①で「利用した」と答えた方にお聞きします。
利用の際に不便を感じる点等ございましたら、ご自由にご記入ください。

⑤ ②で「4. 和奈見・国英線」「6. 散岐線（予約型乗合タクシー）」「8. 佐治線（予約型乗合タクシー）」「9. 津野・津無線」を選択した方にお聞きします。

上記の路線では、時間帯により電話による予約で運行する公共交通サービス（予約型乗合タクシー）を運行しています。

予約型乗合タクシーの予約をすることについて、思うことはありますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

1.電話をするのが手間　　2.電話できちんと会話できるか心もとない
3.予約後に外出予定が変わるのではないかと心配
4.いつ乗合タクシーが来るのか、わからないので不安
5.予約した内容を忘れそうで心配　　6.車内での次回予約ができて便利
7.病院や公共施設などで次回の予約ができれば便利
8.その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

⑥ ①で「利用したいが利用できない」と答えた方にお聞きします。

利用できない理由は何ですか。（例を参考に具体的な内容をご記入ください）

例　・●時のバスが、鳥取駅×時発の JR に間に合わない
　　・予約型乗合タクシーの利用方法がよくわからない

【問4】 南部地域の実証運行に合わせて、河原口バス停、用瀬バス停では「バスアテンダント（バス利用協力員）」によるバス利用のお手伝いを行っています。
※市立病院を経由するバスが運行する、昼間時間帯に限ります。（期間：平成 24 年 10 月～）

①「バスアテンダント」がバス利用のお手伝いを行っていることは、ご存じでしたか。

1.知っている → ②へ　　2.知らなかった

②「バスアテンダント」の評価として、あなたのお考えにあてはまるもの一つに○をしてください。

1.とても良い　2.まあ良い　3.どちらでもない　4.あまり良くない　5.良くない

【問5】 南部地域の公共交通が新しくなってからの、あなたの外出についてお聞きします。

①南部地域の公共交通が新しくなり、外出のしやすさに変化はありましたか。
あてはまるものすべてに○をしてください。

1.外出先が増えた　　2.外出回数が増えた　　3.気軽に外出できるようになった
4.外出したくなった　　5.無理して自動車を運転しなくてもよくなった
6.家族や知人に送迎を依頼しなくてもよくなった
7.その他（具体的に＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

②公共交通が不便なために「生活に支障をきたしていること」や「我慢している活動」がありますか。ありましたら、具体的にお聞かせください。

1.ない　　2.ある（具体的に＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

③南部地域の公共交通が新しくなり、あなたの外出回数は増えましたか。または減りましたか。

1.増えた：一ヶ月あたり（＿＿＿）回ほど増えた → ④へ
2.変わらない
3.減った　：一ヶ月あたり（＿＿＿）回ほど減った → ④へ

④ ②で「1 増えた」または「3 減った」と答えた方にお聞きします。
外出する回数が変化したのは、具体的にどのような目的、行き先において外出する回数が変わりましたか。

外出回数が増えたまたは減った目的	1.通勤　2.通学　3.買物　4.通院　5.趣味や娯楽 6.友人・知人との面会　7.公共施設（市役所や銀行など）の利用 8.その他（　　）
具体的な外出先	施設名・住所など

【問6】 現在、鳥取市内を運行する路線バスは、市全体で年間に約 2 億 1,600 万円（H23 年実績）を、市が負担することで維持しており、一方でバス利用者は年々減少傾向にあります。

このような状況で、地域の公共交通を将来まで残していくために、あなた自身、どのように地域の公共交通に関わっていきたいと思いますか。
あてはまるものすべてに○をしてください。

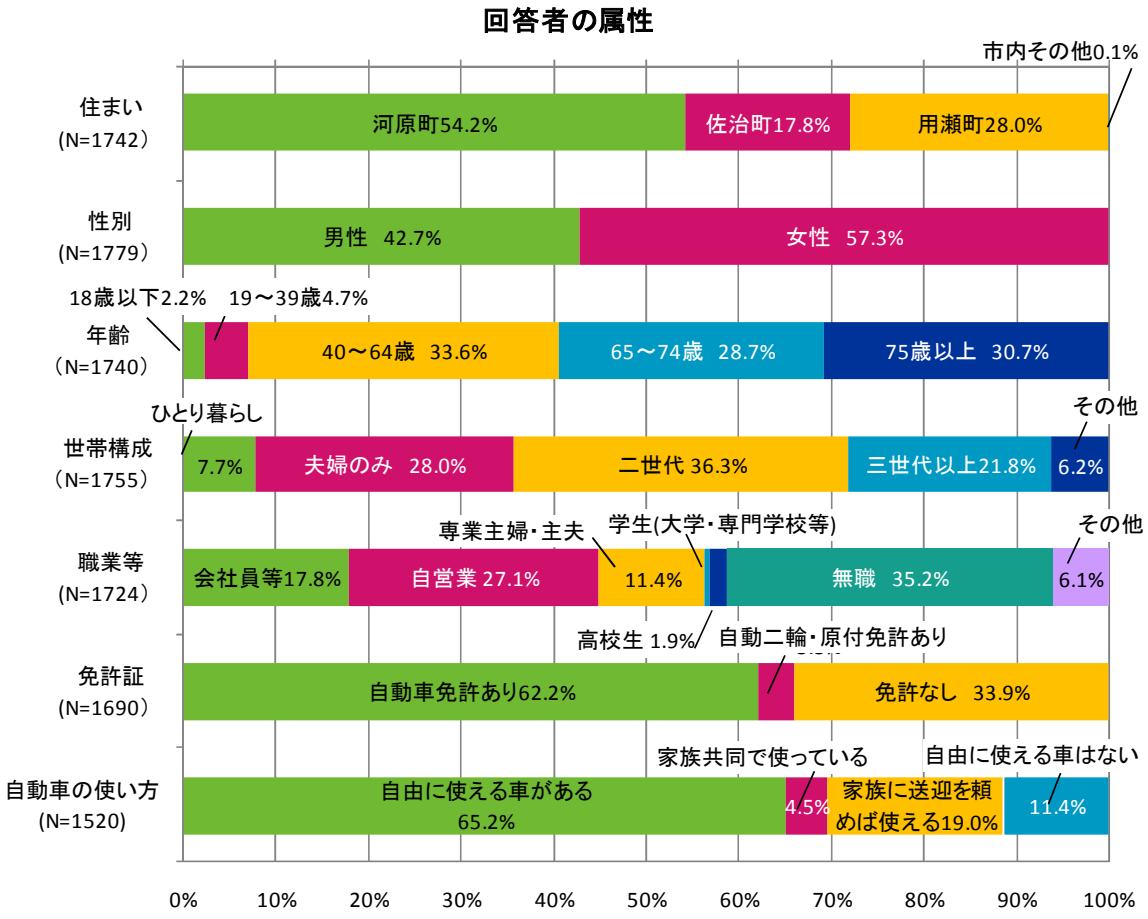
1. 地域の公共交通を守るために、積極的に公共交通を利用したい
2. 今は利用できないが、将来は公共交通を利用したい
3. 近所の人にも、できるだけバスを利用するように働きかけたい
4. 行政や交通事業者と一緒になって、より良い公共交通について考えたい
5. 自分も地域のバス停でアテンダントを担い、利用者を支援したい
6. 地域から公共交通がなくなっても良いので、公共交通を利用しようとは思わない
7. わからない
8. その他（具体的に＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

【問7】 最後に、鳥取市の公共交通や生活全般についてご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

１－２　集計結果

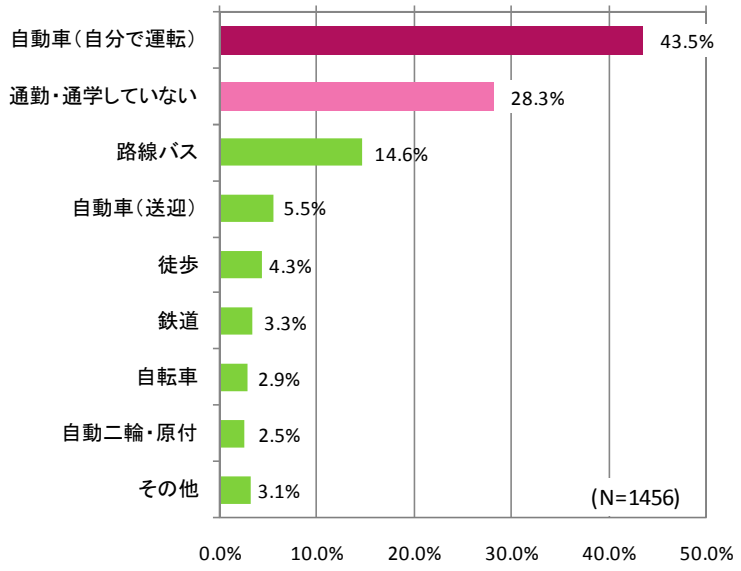
【問1】 あなた自身のことについておたずねします。



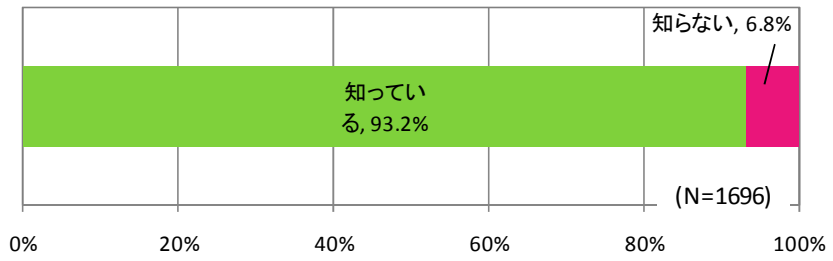
○回答は「なるべく公共交通が必要な方を優先」するよう依頼したため、65 歳以上の高齢者が約６割を占める。

○自動車の使い方では、「家族に送迎を頼めば使える」が 19.0%、「自由に使える車はない」が 11.4%見られた。

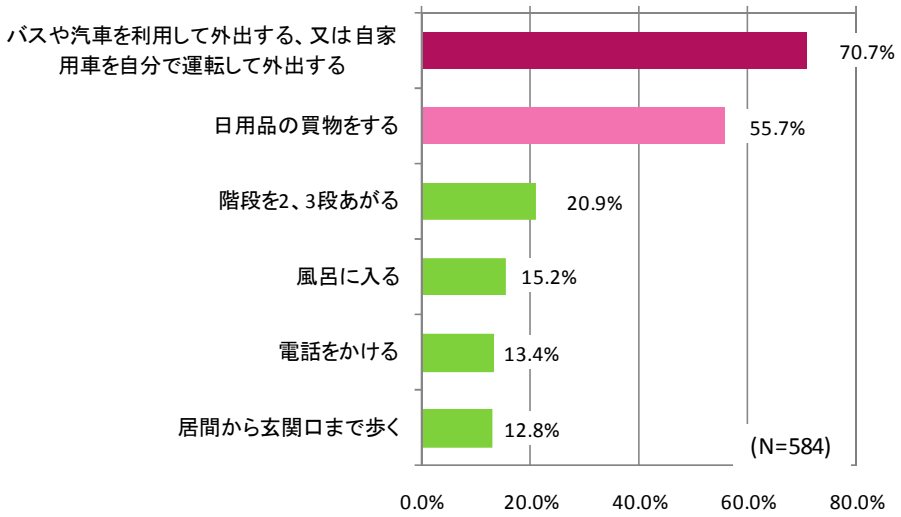
通勤・通学での交通手段（複数回答）



最寄りのバス停を知っているか



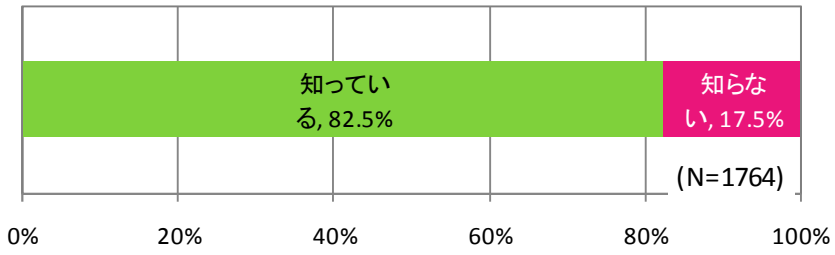
自分だけでは活動が大変だと感じるもの（複数回答）



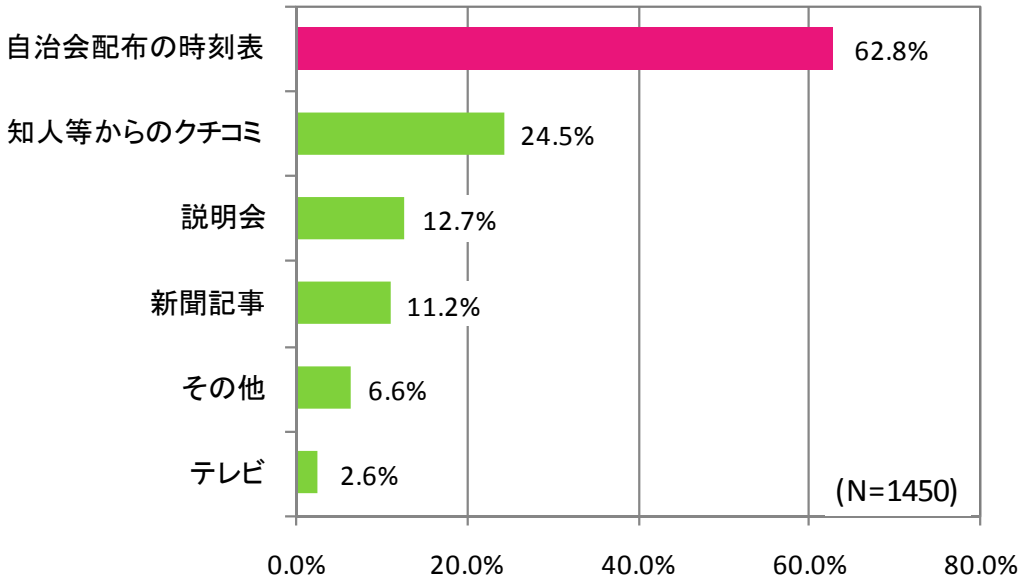
○自宅最寄のバス停は、９割以上の人が「知っている」と答えた
○健康状態に関しては、「バスや汽車を利用して外出する、又は自家用車を自分で運転して外出する」を選択する者が最も多くなっている。

【問 2】 鳥取市では、平成 24 年 10 月より南部地域（河原・用瀬・佐治）において、幹線便と支線便にわけた新公共交通（路線バス・乗合タクシー）の実証運行を行っています。

H24年10月より南部地域の公共交通が新しくなったことを知っているか？



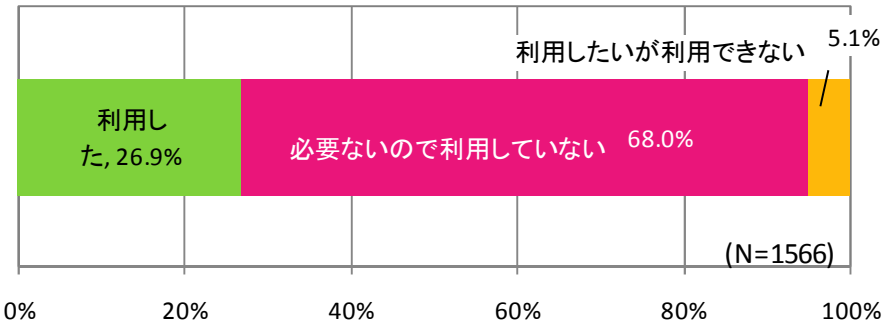
「知っている」と答えた人の認知のきっかけ（複数回答）



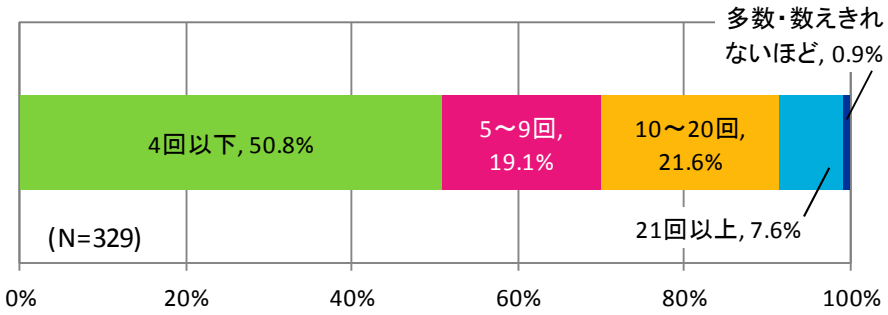
○南部地域実証運行の認知後は 82.5%と高い。
○認知のきっかけとしては、自治会配布の時刻表が最も多い他、知人等からのクチコミもあげられる。

【問 3】 南部地域の公共交通のご利用についてお聞きします。

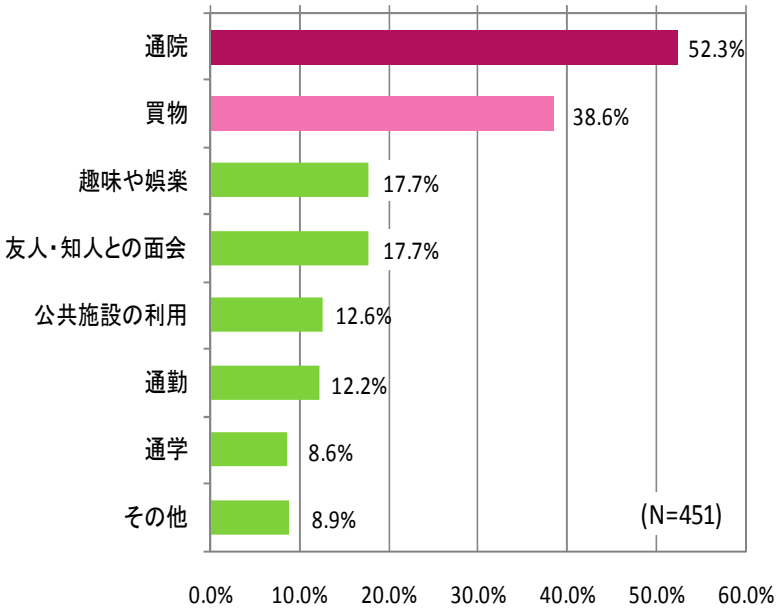
南部地域の公共交通が新しくなってから、路線バスまたは予約型乗合タクシーを利用したか？



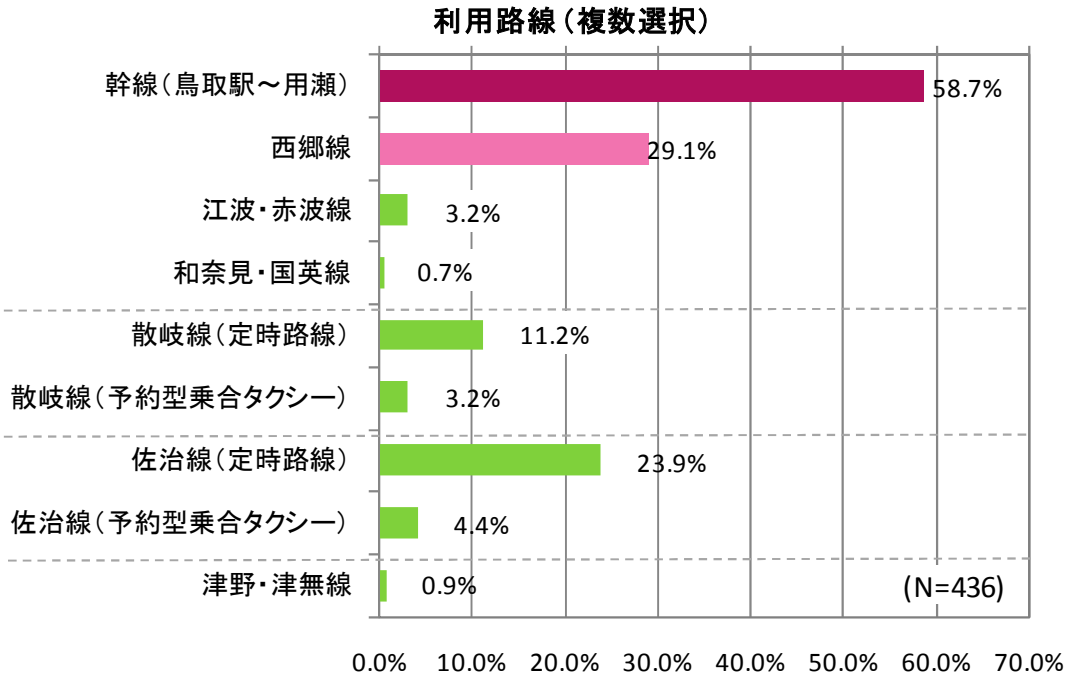
利用した人のこれまでに利用した回数



利用目的（複数選択）



○南部地域実証運行の利用については、「利用した」と回答した人が 26.9%となった。「利用したいが利用できない」との回答も、5.1%見られた。
○利用回数は「4 回以下」が最も多く半数に達している。
○利用目的は「通院」が最も多く 52.3%、次いで「買物」が多くなった。



○利用する路線としては、幹線が 58.7%、支線が最も多い西郷線で 29.1%となった。

よく利用する区間

幹線のみ利用

区間	回答者(人)
河原口～鳥取駅	35
用瀬～鳥取駅	31
下袋河原～鳥取駅	10
河原～鳥取駅	9
鷹狩～鳥取駅	7
河原町総合支所前～鳥取駅	6
稲常～鳥取駅	5
上袋河原～鳥取駅	5
金屋～鳥取駅	5
金屋～用瀬	5
散岐橋～鳥取駅	5
六日市～鳥取駅	4
用瀬～下叶	4
金屋～鷹狩	3
高福～鳥取駅	2
河原口～下叶	2
下町～市立病院	2
用瀬～市立病院	2
下町～鳥取駅	2
用瀬～鷹狩	2
その他	34
計	180

支線のみ利用：西郷線

区間	回答者(人)
曳田～河原口	3
河原町総合支所前～北村	1
中井～河原口	1
中井橋～河原口	1
中井入口～河原	1
中井入口～河原口	1
中井農協前～中井入口	1
天神原橋～河原町総合支所前	1
北村～湯谷	1
計	11

乗換（幹線+西郷線）

区間	回答者(人)
曳田～鳥取駅	5
牛ノ戸～鳥取駅	4
北村～鳥取駅	4
公民館前～鳥取駅	3
中井～鳥取駅	2
神馬～鳥取駅	2
北村～河原	2
その他	9
計	31

支線のみ利用：佐治線

区間	回答者(人)
刈地橋～用瀬	5
尾際～用瀬	3
高山口～用瀬	3
別府～用瀬	2
弥留気地蔵入口～用瀬	2
加茂～用瀬	2
その他	8
計	25

乗換（幹線+佐治線）

区間	回答者(人)
加瀬木～鳥取駅	4
別府～鳥取駅	4
春谷橋～鳥取駅	4
高山口～鳥取駅	3
保健センター前～鳥取駅	3
加茂～鳥取駅	2
福園橋～鳥取駅	2
津無口～鳥取駅	2
森坪～鳥取駅	2
余戸～鳥取駅	2
その他	9
計	37

支線のみ利用：散岐線

区間	回答者(人)
水根～河原口	1
佐貫～河原口	1
計	2

乗換（幹線+散岐線）

区間	回答者(人)
水根～鳥取駅	1
計	1

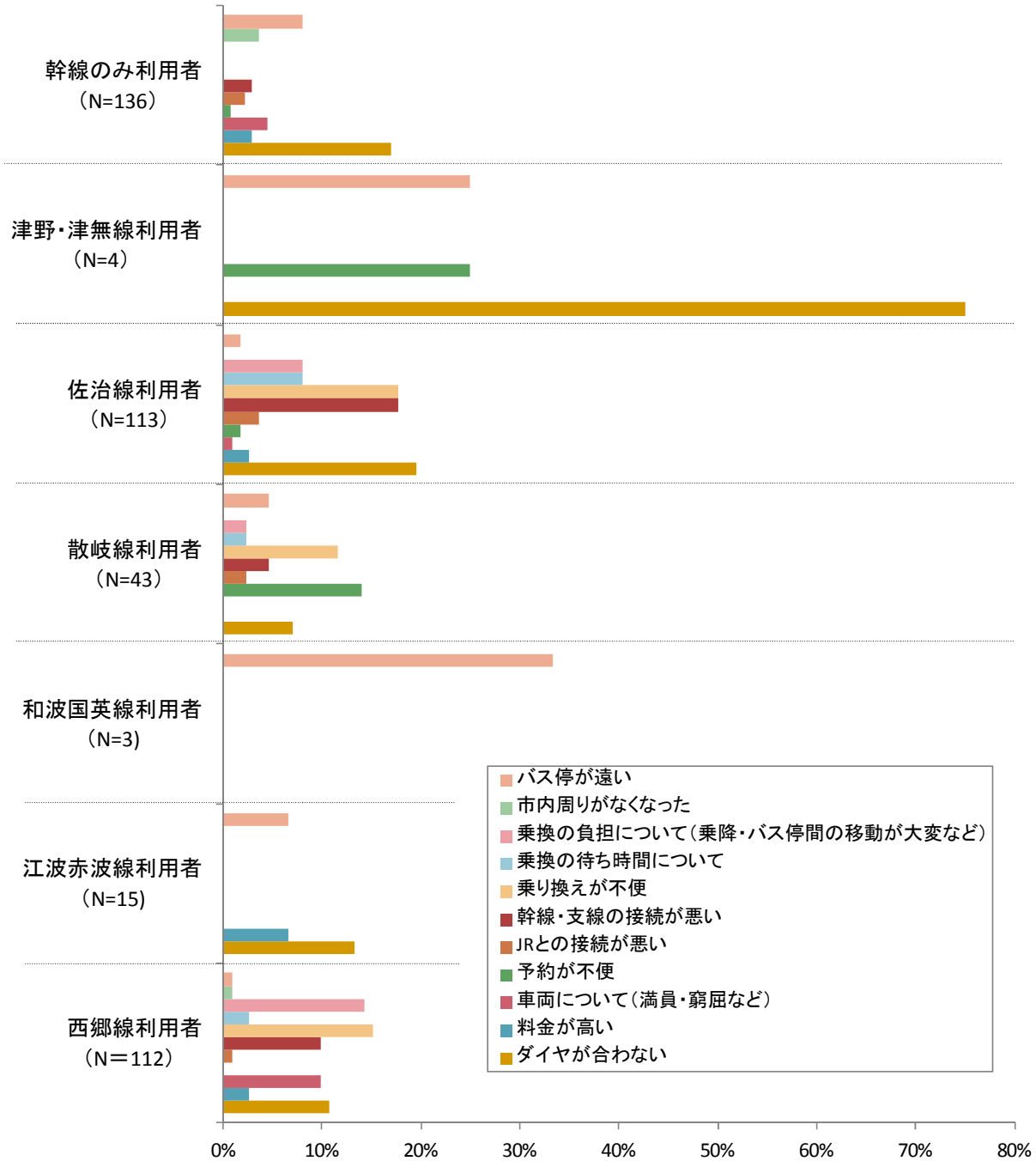
支線のみ利用：江波・赤波線

区間	回答者(人)
下平～鷹狩	1
計	1

乗換（幹線+散岐線）

区間	回答者(人)
水根～鳥取駅	1
計	1

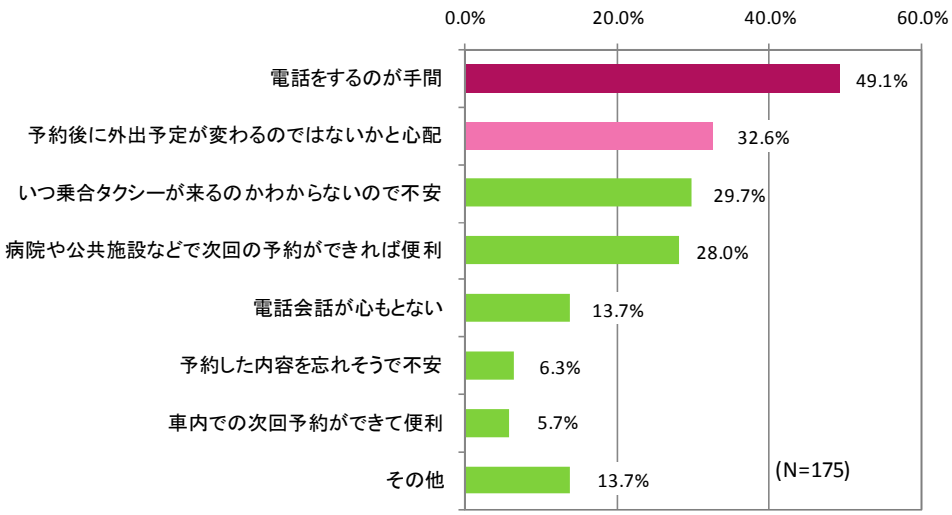
利用の際に不便を感じる点（自由記述による回答から集計）



○幹線利用者では、「バス停が遠い」「ダイヤが合わない」といった意見が多く、バス停では、特に快速便が停車するバス停までが遠いというような意見が多く見られた。

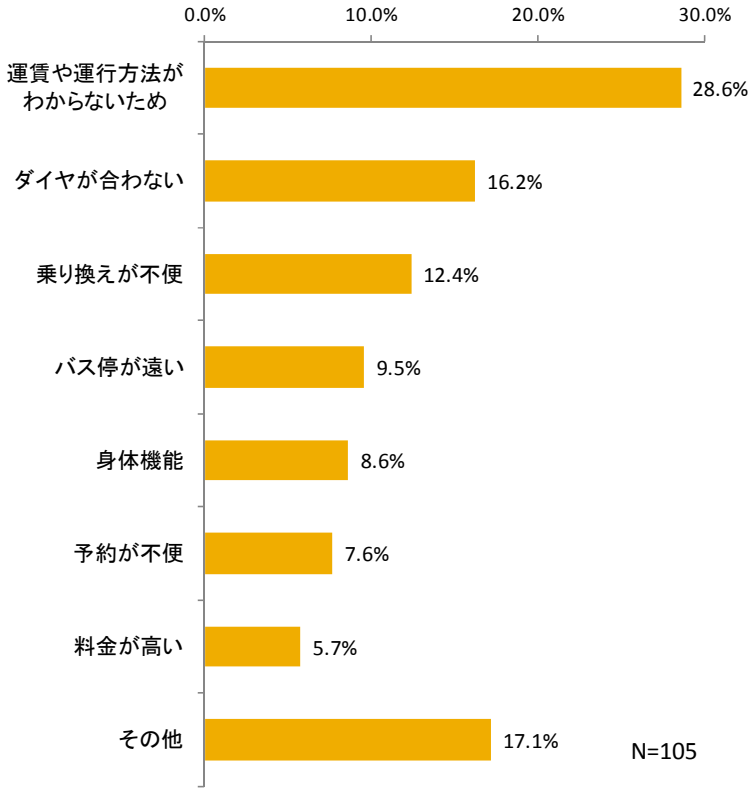
○また、佐治線ではダイヤ以外に「幹線・支線の接続が悪い」や「JR との接続が悪い」といった意見も多く、西郷線では乗換えの負担に対する意見が多い傾向が見られた。

予約型乗合タクシーの予約について思うこと（複数選択）



○予約型乗合タクシーの予約については、「電話をするのが手間」「予約語に外出予定が変わるのではないかと心配」という意見が多くなった。
○「病院や公共施設などで次回の予約ができれば便利」との意見も28.0%見られた。

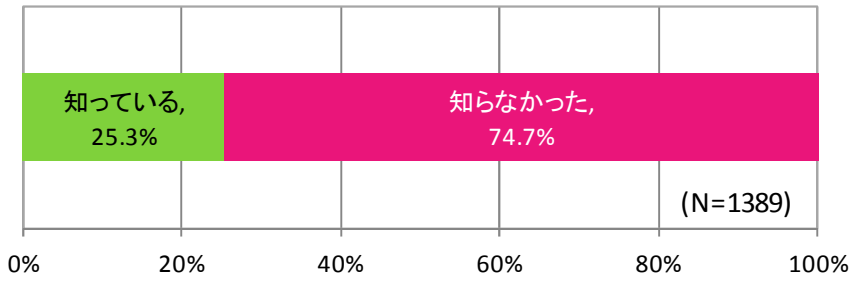
利用したいが利用できない理由（自由記述による回答から集計）



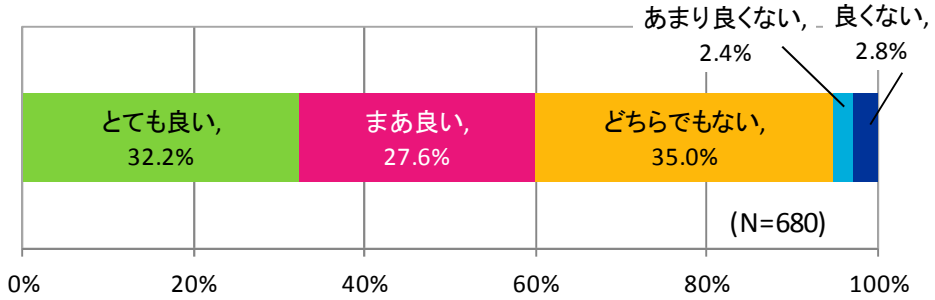
○利用できない理由としては、「運賃や運行方法がわからないため」といった意見が最も多く、次いで「ダイヤが合わない」「乗換えが不便」といった意見が多くなった。

【問 4】 南部地域の実証運行に合わせて、河原口バス停、用瀬バス停では「バスアテンダント（バス利用協力員）」によるバス利用のお手伝いを行っています。
※市立病院を経由するバスが運行する、昼間時間帯に限ります。（期間：平成 24 年 10 月～）

バスアテンダントがバス利用の手伝いをしていることを知っているか？

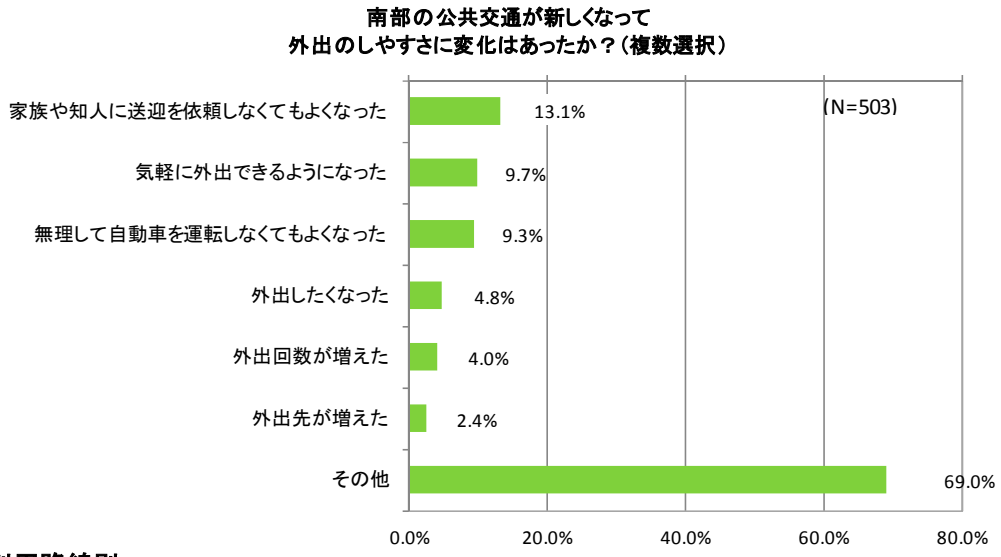


バスアテンダントへの評価

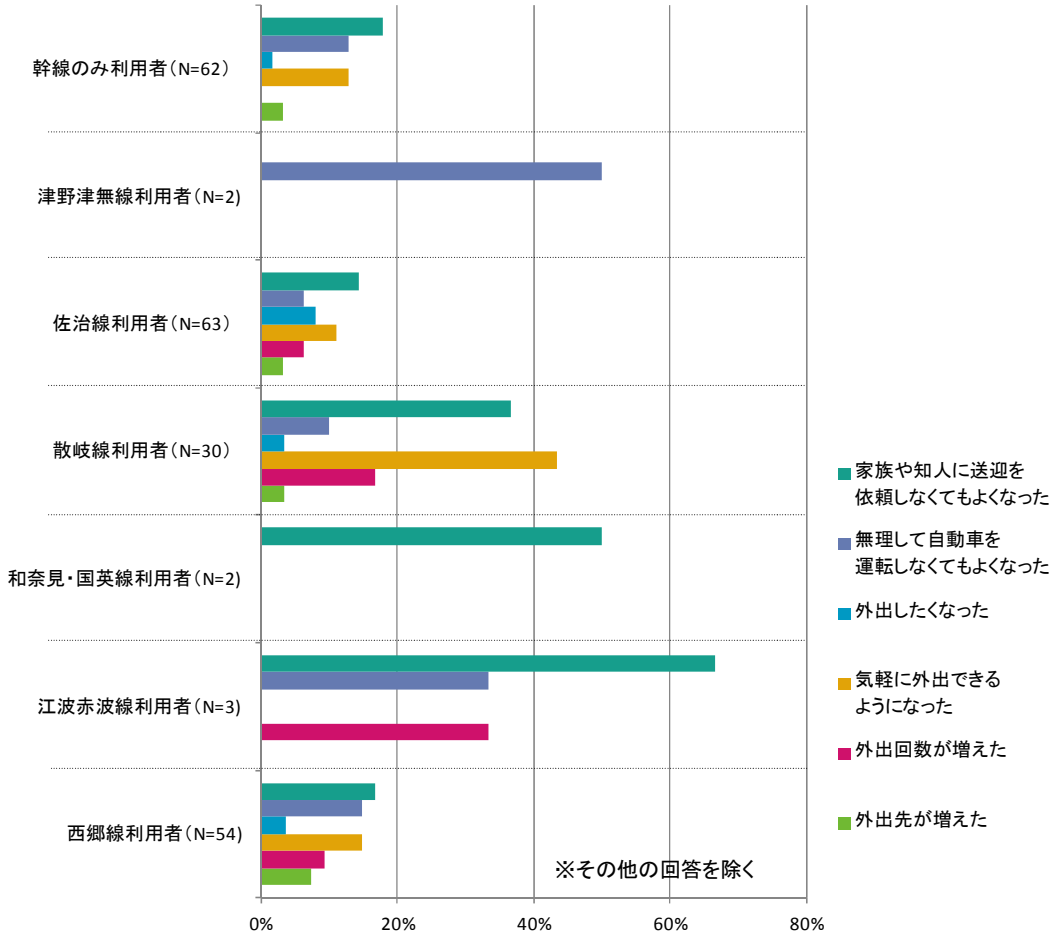


○バスアテンダントの認知状況は 25.3%とであり、「知らなかった」と回答した人が７割以上に上った。
○評価としては、「とても良い」「まあ良い」を合わせて、６割近くに達した。

【問 5】 南部地域の公共交通が新しくなってからの、あなたの外出についてお聞きします。



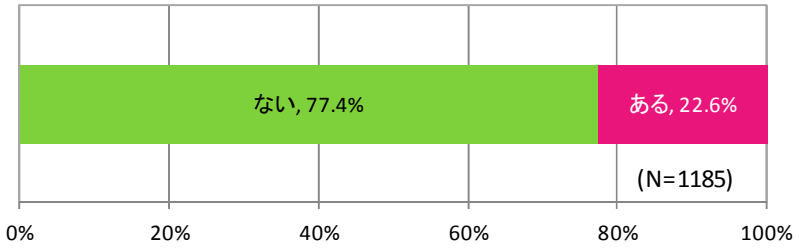
▼ 利用路線別



○外出のしやすさの変化については、「家族や知人に送迎を依頼しなくてもよくなった」が最も多くなった。その他の意見としては、「変わらない」や「わからない」といった意見が多くなった。

○路線別では、サンプル数の多い中では特に散岐線で各項目の選択率が高くなっている。

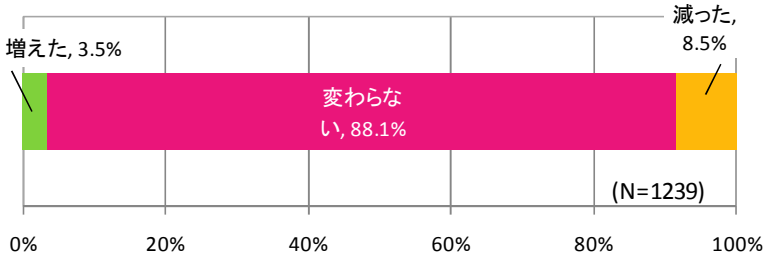
公共交通が不便なために支障や我慢していることがあるか？



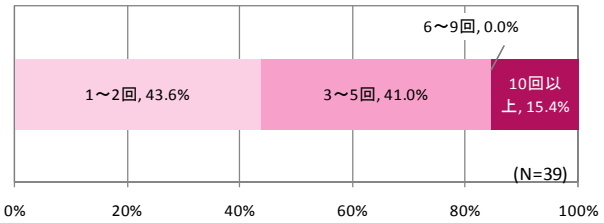
○公共交通が不便なために生活に支障や我慢していることについては、「ある」が 22.6%となった。

○鳥取市地域公共交通総合連携計画策定の際のアンケート調査においても同様の質問を行っており、平成 21 年度は用瀬・河原・佐治で「ある」が 21.8%だったのに対し、やや増加する結果である。

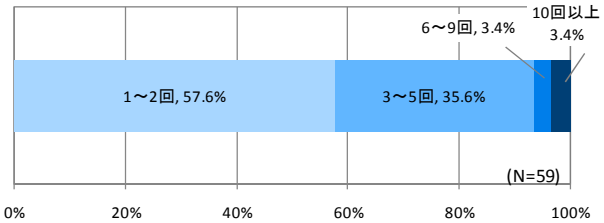
外出回数の増減について



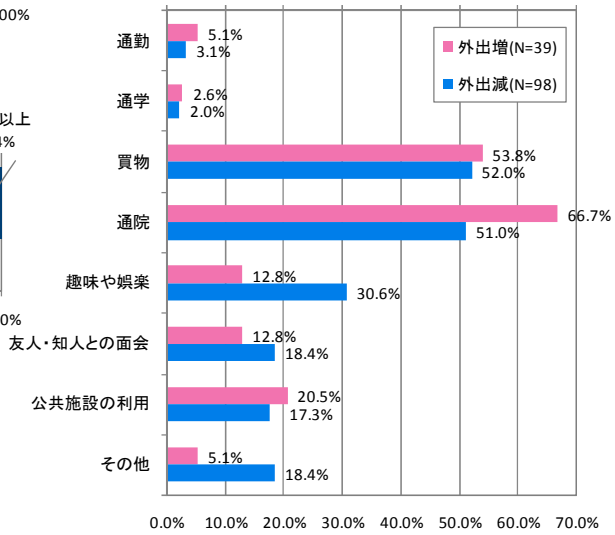
外出の増えた人の回数:一カ月あたり( )回増えた



外出の減った人の回数:一カ月あたり( )回減った



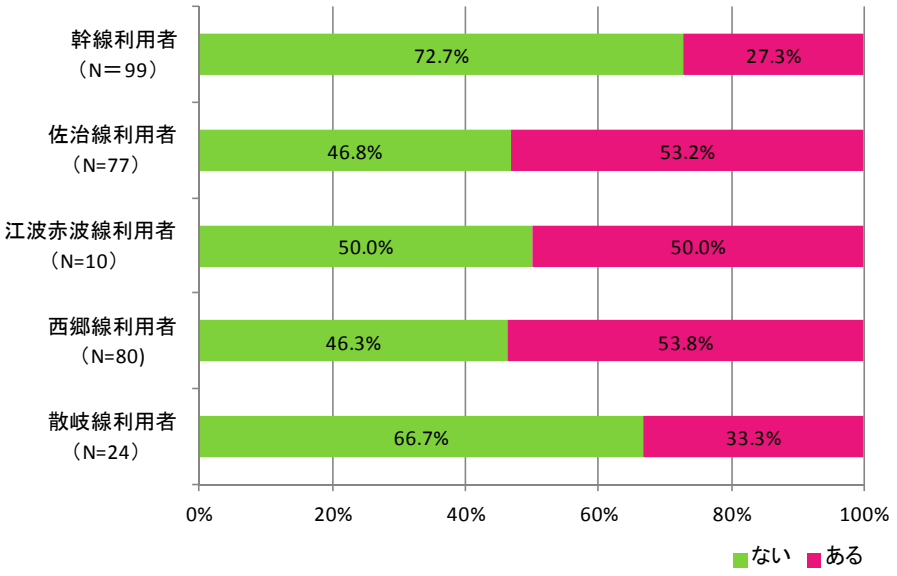
外出回数が増えた又は減った目的(複数選択)



○外出回数は「増えた」が 3.5%で、減った「8.5%」が上回る結果となった。

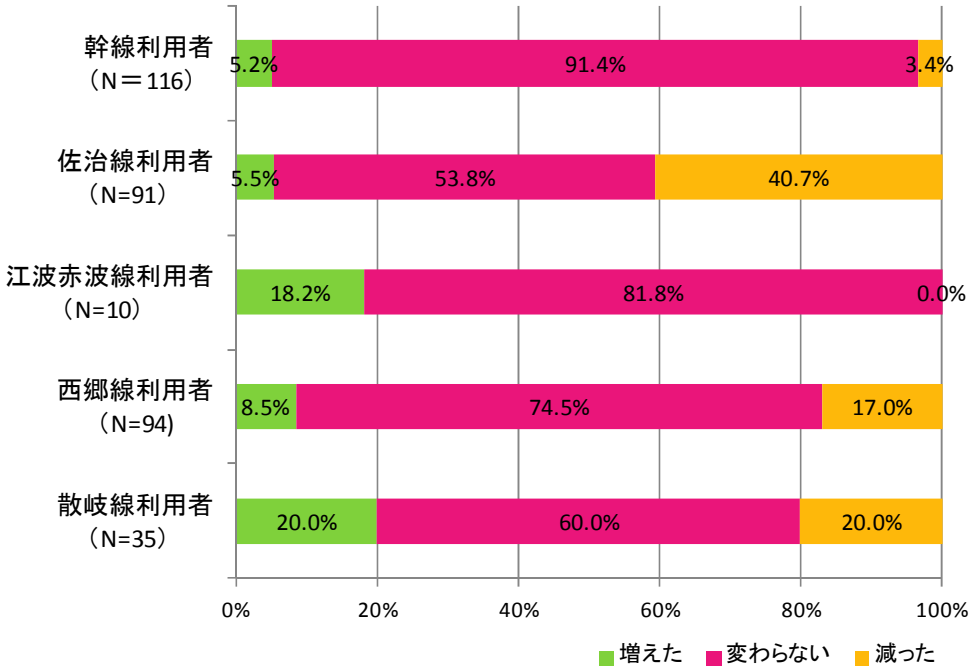
○目的別では、増えた・減ったともに買物・通院が多い一方、減った目的として趣味・娯楽の選択率が高くなっている。

■利用路線別の公共交通が不便なために生活に支障や我慢している状況



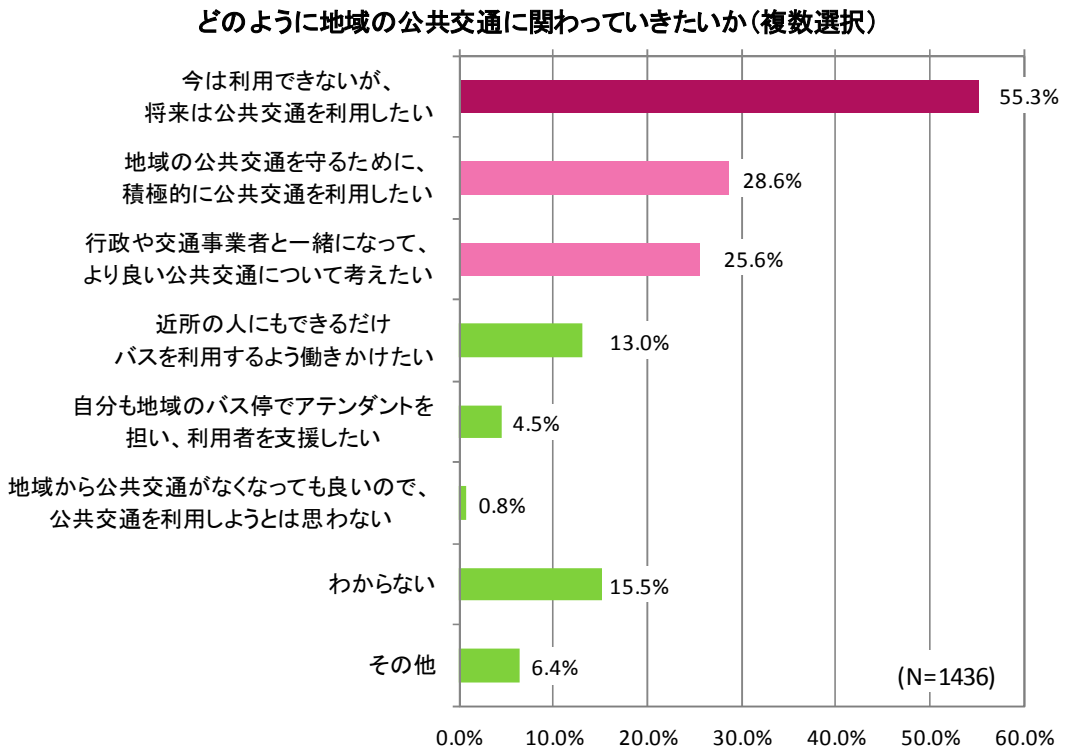
○幹線利用者、散岐線利用者で「ない」との回答が多い一方、それ以外の３路線では「ある」が 50%を超える。

■利用路線別の外出回数の増減



○利用路線別に外出の増減を見ると、散岐線・江波赤波線利用者で利用が「増えた」とする人の割合が多い。
○一方、特に佐治線利用者では利用が「減った」とする人の割合が多くなった。

【問 6】 現在、鳥取市内を運行する路線バスは、市全体で年間に約 2 億 1,600 万円（H23 年実績）を、市が負担することで維持しており、一方でバス利用者は年々減少傾向にあります。
このような状況で、地域の公共交通を将来まで残していくために、あなた自身。どのように地域の公共交通に関わっていきたいと思いますか。



○「今は利用できないが、将来は公共交通を利用したい」との回答が最も高く 55.3%に達した。